



題字 中36回 野見山 暁治

嘉 穂

第72回嘉中・嘉穂高等学校 関東地区同窓会総会

日時：令和4年11月25日(金)18時より

場所：ホテルグランドヒル市ヶ谷

元 輝



第72回嘉中・嘉穂高校 関東地区同窓会総会によせて



実行委員長
下元 紳志(高41回)

私たち高校41回生は、平成元年3月に嘉穂高校を卒業した平成最初の卒業生になります。時代は、平成から令和に変わって既に4年目です。世界は大きく変わり、特に最近では、気候変動の加速、新型コロナウイルス感染症の蔓延、ロシアによるウクライナ侵攻など、人類が地球規模で取り組むべき課題が顕著に増えています。そんな大きな変化の中にいるからこそ、嘉穂で受け継がれている伝統の良さがより一層身にしみてわかるような気がします。

私は、飯塚第二中学校から嘉穂高校に入学しました。小学生から剣道をしていましたので、自然な流れで剣道部に入学しました。それ以降、私にとつ



ては、時間的にも精神的にも(！)、剣道一色の高校生活でした。稽古は厳しく、先生やOBの先輩方によく道場の外の通路まで文字通りぶっ飛ばされていました。その時、隣の柔道部の道場から猛練習で血の気のない顔をして出てきた部員と会うことも多々あり、妙な共感が生まれていました。

練習後はクタクタになって自転車のペダルが重く、実家の前にあるちよつとした坂がまるで峠の坂を上がるように感じながらようやく家にたどり着いていました。一方で、夕食を食べ一晩寝ると、翌朝にはエネルギーに満ち溢れていましたので、10代後半の底知れぬ体力は今思い出しても驚異的でした。

改めて振り返ってみると、多感で力的にもエネルギーにあふれた高校時代が人生に与える影響の大きさを感じます。私は、嘉穂高校に、嘉穂高剣道部に、そして剣道部恩師の故吉岡先生に考え方や価値観などの人生の基礎を作っていただいたことを誇りに思い、深く感謝しています。

一人でも多くの皆様にお目にかかれ、ますますの喜びに、ご来場お待ちしております。





【令和4年度 新人歓迎会】



との思いで青年部イベントの一つとして企画したところ、社会人5名、大学生9名の計14名が参加。田中副会長、中村副会長をはじめ17名の同窓生で盛大に歓迎し、過去最多の参加者数となりました。

新人参加者の皆さんですが、東京に転勤して来られた社会人の中には、ちょうど今年の関東当番（高41回卒）の方もいて、同期メンバーとの話も弾んでいた様子でした。また、今春に高校を卒業した大学1年生の参加者5名全員が「嘉穂高等学校附属中学校」からの中高一貫校の出身でした。たしかに新たな時代の流れを感じます。

懇親会では、学生さん（20歳未満）は勿論、コンプライアンス遵守でアルコール禁止ではありましたが、久しぶりの集いのせいかわ、新旧入り混じって笑顔満開で談笑しあう姿があちこちに見られ、嘉穂ワールド全開の懐かしい光景が広がりました。

新人の自己紹介では、将来の夢や希望を語る、若き後輩たちの綺麗な瞳にとても感動し、心からのエールを送りたいと、歓迎した先輩方も願わずには



いられませんでした。

17時に開始した歓迎会も、時計をみればあつという間に20時を過ぎ、気運も最高潮に盛り上がるなか、締めはやはり、愛する母校の校歌斉唱。ただ今回は、恒例の肩は組まずに、手拍子でマスク着用と、お互いに気遣いを忘れないのも「嘉穂同窓」の強い絆。

帰り際に、新入生から「嘉穂の卒業生で本当に良かったです！ 秋の総会にもぜひ参加したいです。せんばい！」との言葉に、胸がグッと熱くなる嬉し一夜となりました。

青年部高40回 日高伸次（二瀬中）

「参加者の声」

先輩方、先日はご招待頂き有難うございました。東京大学文科一類の藤川勝将と申します。今春上京し、関東地区同窓会の末席に連なることとなりました。どうぞお引き立ての程お願い申し上げます。

私は附属中から六年間を嘉穂で過ごし、同窓会の先輩方のご支援のもと、筑豊随一の環境で学んで参りました。附属中では修学旅行で関東を訪れ、東京の溢れんばかりの華やかさに感動し、憧れを抱き続けてきました。

しかし上京して以来、故郷筑豊で当然に接していた福岡のテレビやラジオの放送を聞く機会が無くなり、一抹の寂しさを覚えていました。歓迎会で頂いた先輩方の温かい励ましのお言葉や格別のご馳走は、その寂しさを埋めて下さったばかりか、東京で真摯に学ぶ為の力も与えて下さいました。

「チーム嘉穂」の一員として、偉大な先輩方と優秀な後輩達に恥じぬよう成長したいと思えます。秋の総会では、多くの先輩方とお話できることを楽しみにしております。改めて、温かくお迎え頂き、本当に有難うございました。

高74回 藤川勝将
（嘉穂高等学校附属中）

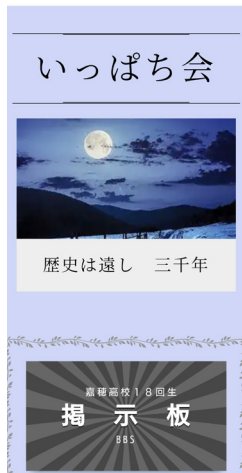


6月18日土曜日、17時より六本木・竹茂（高26回卒・竹之内先輩のお店）にて3年ぶりとなる新人歓迎会を開催いたしました。これまでコロナ禍の影響で歓迎会の中止が続いていましたが、ワクチン接種などの感染症対策が進み、感染者数や重症化リスクの減少もあって、同窓会活動の再始動とともに、久しぶりに集い合う機会になれば

同期を繋ぐ

私達18回生は20年ほど前から電子掲示板を同期の連絡・情報交換として活用してきましたが、利用していたIT企業が今年7月で掲示板サービスを終了することになり、その代わりにLINEグループを作り8月1日より本格的に開始しております。年4回の飲み会、ハイキング、温泉旅行など恒例行事の連絡のほか、日常生活の他愛のない書き込みが仲間の絆を強めてくれていきます。そして掲示板も残して欲しいと一部から強い要望があり、新しく開設いたしました。

今年から後期高齢者の仲間入りとなりましたが、LINEと電子掲示板で18回生は永く仲良く活動を続けたいと思っています。



高18回 前田 一夫 (二瀬中)

上京から早38年!

東京での生活が38年になりました。転居を伴う転勤もなく、気づけば故郷

郷よりも長く住んでいます。会社は11月の誕生日で定年となりますが、一足早く4月より関係会社に出向の身となりました。リタイアまで後5年、新天地でがんばります。前の会社はゼネコン、今度は建材商社です。毎日が新鮮で、勉強になることばかりです。人生、「死ぬまで勉強」だと思ふこの頃です。



↑真ん中の孫と散歩する筆者

高33回 川口雅史 (飯塚一中)

夏の想ひで

経験豊富な隣人を師に仰ぎ登山を始めて20年になる。北や南アルプスを中心に年に数度の山行きは、コロナ禍で激減した。この8月は燧ヶ岳を目指したが前夜の激しい雨のため登頂を断念。

尾瀬沼から鳩待峠まで6時間の快

適な散策へと変更した。木道で足を滑らせ転倒し足首を捻ったとき、まだ行程の半分が残っていた。標準時間の倍の時間をかけながらも峠に辿り着いたのは、30kg近い私の荷物を70歳代の同行者が背負ってくれたおかげだ。高山植物も目に入らず入道雲の下、牛歩となったこの日のことを、夏がくるたびに想い出すのだろう。



↑尾瀬沼東端、長蔵小屋前、右端が筆者

高28回 黒田豊彦 (菰田中)

こんにちは!

酷暑に加えてコロナ禍、線状降水帯の被害、世界的にはプーチンロシアの侵略、台湾を巡る米中の穏やかならずは気になりますね。

小生は高8回生で、7度目の干支を迎えた遠咆哮の老虎といったところ。人生の第3ステージを社会学者が云う「老年的超越の状態」を前向きに歩いています。目下集中しているのは腹式呼吸法によるスポーツ、吹矢です。上級公認指導員として、NHKカルチャー教室(さいたまスパーアリーナ教室)の講師を10年近く担当のほか、公民館等3カ所で中高年者の健康増進の錬磨指導に励んでいます。年柄から来る身体部品の不具合は繕い繕いに務め数病息災でいます。

云うに数10年に跨がる嘉穂中高同窓会の活気は楽しさをもらっています。

高8回 松尾有祐 (穂波西中)

学生時代、人と話すのが苦手だった僕は、ならば人と話さず好きな音楽の仕事をと、電子楽器の開発エンジニアに。ところがなぜだか、日々と話をし、それを記事にする音楽テクニカルライターに転身し約25年。人生、不思議なものです。この夏は某音楽家の仕事でほぼ缶詰状態。そ



お・元・気・で・す・か・？

れでも嘉穂高時代、下三緒の実家で聴きまくっていた数多くのミュージシャンに会え、いい夏になりました。元気で長生きすると、いいことあるみたいです。……まだ本は書き上がっていませんけど（苦笑）。

高38回 布施雄一郎（飯塚二中）

初上京で船橋市に住み始めたとき、飯塚に似ている点が多くてホッとしたのを覚えています。

その後約25年間、仕事で中東、北米、東南アジアで生活した結果、あらためて日本の素晴らしさ、とりわけ自然の美しさを実感しています。

今では、高校生の頃には見向きもしなかった野鳥をわざわざ探しに行つてまで撮影しています。

コロナ禍で帰省や会合も控えることが多いですが、再び同窓の皆様と会えることを楽しみに過ごしています。



高43回 大屋信貴（碓井中）

「還暦を迎えて」

高校33回 中谷 浩之

この原稿が皆様のところへ届くのは、もう秋になつてきている頃でしょうか、この記事をしたためている今はお盆の頃、まだまだ暑い日が続いています。

我々33回生は還暦を迎える学年です。諸先輩から見れば還暦なんて、まだまだ幾らでも頑張れる年齢だぞ、と叱咤激励を頂ける事かと思えます。私事ですが、二人のこどももそれぞれ独立し、孫の顔も見て少しほっと一息。さあ、この先また何をやるのか、始めようかと楽しみでもありません。まるで開いたままの本が風ではらりとめくられ、いつのまにか次のページに変わっていたみたい、ふつとこの先に進めたら素敵だと思つています。

私が嘉穂関東の同窓会にお伺いするようになったのが、28歳の時です。世話人会から出席するようにになり、その年の関東地区の当番が11回生の頃だったと思います。同窓会へ顔をだすようになったきっかけは、自営業として独立した事でした。19歳で東京の大学へ進学し、そのまま東京で就職。27歳の時（1990年）に建築設計事務所を開業したその翌年からのご縁で、かれこれ32年になります。

高校の頃は、もともと自由奔放な性格なのか、嘉穂魂とは程遠い、気ままな高校生活を過ごしていたので、

当時はまさか嘉穂とここまで長いご縁が続くとは考えてもいませんでした。

関東でご縁が始まった当時の関東地区の同窓会は、今に比べると若い世代がまだ少なかつたように思います。でも少数の良いところもあり、33回の僕より上の26回位までの先輩がたと、家族ぐるみのお付き合いを頂き、今でも続いています。

特に今でも思い出されるのは、毎年の世話人会です。まだ僕らも若かつた事もあり、大先輩がたの傘の下で、朝まで飲み明かすのが恒例でした。そのような関東での、温かくも熱いお付き合いを通して、嘉穂高校つてこんな良い伝統と結束がある所なのだと、恥ずかしいかな東京に来て初めて知りました。

同窓会にお邪魔してから、僕ら33回が当番の50歳になるまでは、バブル経済の崩壊から、長い不景気な世の中が続きました。もともとなんの縁故もない土地での自営業の暮らしは、まさに大海に投げ出された一枚の木の葉の如き有様でした。しかし、何とか60歳を迎える今年度まで、何事も諦める事なく無事に続けて来られたのは、嘉穂関東の先輩のお力添えを頂いた事や、50歳の時に東京で再会した同期が居てくれた事が大きな励みや支えになつて居るからだと思います。

これから嘉穂関東に来る後輩、ま



↑高校33回の同期とともに（前列左から2番目が筆者）

だ縁が出来て日が浅い後輩諸君にこの事を、心に沁み入るような温かい人間関係がこの嘉穂関東にはある事を、拙筆ながらも伝えたいと思いい、この原稿を引き受けさせて頂きました。

今の嘉穂関東は、良い伝統をそのまま守りながら、更に多くの若い世代によって様々な工夫がなされ、ますます開かれた良い同窓会になっています。ここ2年は新型コロナウイルスの流行もあり、関東地区の総会は開催されませんでした、その間も役員の皆様は片時も心離れることなく地道な活動を継続されていきました。

ようやく、今年の11月に総会の開催が予定されています。現在私は幹事に在籍させて頂いておりませんが、60歳を迎える今年度でそのお役目も無事に終わります。更に若い世代に繋がって行く過程としてとてもありがたいと思います。

今年の総会の準備に奔走されている当番の皆様、また会長、幹事長をはじめとした重責を担われている同窓会役員の皆様、そしてこの会報のご準備を頂いている皆様に厚く御礼申し上げます。



青年部イベント ボーリング大会（懇親会）のご案内

- 開催日時** 2022年10月21日（金）18時30分 開始！
- 開催場所** ハイパーレーン（東京都豊島区東池袋1-43-6）
- 会費** 3,000円（2ゲーム＋懇親会[焼肉 飲み放題]）

申込方法

下記住所へはがき、メール、Google フォーム いずれかの方法で 必要事項
（①卒業回数 ②お名前 ③緊急連絡先）を記載のうえ、お申込みください

- ボーリング場では
- ・マスク着用
 - ・アルコール持込禁止
 - ・場内禁煙
- ご協力お願い致します

- ・〒193-0801 東京都八王子市川口町1708-10 日高伸次 宛て
- ・E-mail: kahokanto40@gmail.com
- ・Google フォーム（右のQRコードから入力）

【参加定員は24名です。お申込みはどうぞお早めに！】



■ 関東地区同窓会事務局

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-32-10
南新宿SKビル
株式会社タイセイ・ハウジー内
TEL. 03-3350-6180
<http://www.kahokanto.net/kwp/>

● 幹事会・事務局

- 副会長 田中 寛利（高26） 中村 真一（高29）
幹事長 塚本 哲（高27）
副幹事長 中西 佳子（高31） 江上 朋広（高37）
幹事 相園 靖彦（高32） 中谷 浩之（高33）
森田 直彦（高34） 桑原美喜子（高35）
宮本 敏則（高36） 中村 英男（高37）
佐藤 憲一（高38） 栗原 義之（高39）
平田 雅浩（高39） 日高 伸次（高40）
村田美也子（高40）
監事 大園 建（高31） 有田 真紀（高35）
事務局長 赤間 敏雄（高10）
事務局 土方 和恵（高28）
青年部長 川口 雅史（高33）
青年部副部長 小鶴 浩之（高38）
HP委員長 河村 俊子（高38）

■ 嘉穂高校同窓会本部

〒820-0021 福岡県飯塚市潤野8番12号
TEL. 0948-22-0231 <http://kaho.fku.ed.jp/>

訃報

心より御冥福をお祈り申し上げます

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 久保山 明代さん（高26回 2018年） | 古川 剛 久さん（中47・高1回 2022年2月19日） |
| 小林 洋さん（高3回 2021年） | 荒木 憲 三さん（中43回 2022年3月20日） |
| 清末 昂さん（高7回 2021年1月） | 山下 剛さん（高9回 2022年4月） |
| 天野 修 一さん（高21回 2021年3月） | 栗崎 郁 子さん（高5回 2022年4月10日） |
| 林田 光 彦さん（高7回 2021年7月） | 瓜生 長 利さん（中45・中46回 2022年5月5日） |
| 平田 義 明さん（高5回 2021年10月） | 柳田 成 徳さん（中48・高2回 2022年7月21日） |
| 木村 弘 子さん（高8回 2021年10月27日） | 江藤 准 一さん（中47・高1回 不明） |
| 小杉 淳 子さん（高14回 2022年1月1日） | |

（YK）

2022年秋の会報をお届けいたします。総会開催のご案内に続いて、新人歓迎会や青年部企画の再開など、リアルイベントのご報告・ご案内ができることをうれしく思います。また誌面企画としても「お元気ですか？」のコーナーを復活させていただきました。突然のお願いにもかかわらず原稿を執筆いただいたみなさまにあらためて御礼申し上げます。同窓生同士の近況を共有できる場として楽しんでいただけることを願っております。さて、いよいよ11月25日には3年ぶりの総会が開催されます！みなさまにお目にかかれることを心より楽しみにしております。

編集後記

